

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 767 号 令和 7 年 4 月

目次

○山口大学共同獣医学部獣医学科卒業証書授与式出席報告（会長理事）	1
○令和 6 年度第 2 回小動物講習会参加報告（下関支部 原田秀明先生）	2
○令和 6 年度 馬飼養衛生管理技術地方講習会及び牛伝染性リンパ腫対策講習会開催報告（山口支部 大村康一郎先生）	4
○令和 6 年度第 4 回理事会開催報告（常務理事）	5
○リレー随筆（山口支部 小宮山暁史先生）	6
○県庁生活 2 年目を迎えて（長北支部 松村有祐先生）	7
○会員の異動	8
○Safe Driver (SD：安全運転者)の証を取得してみませんか（山口支部 中間寛徳先生）	9
○お知らせ 会員のメールアドレス登録について	10
○お知らせ 会員異動報告について	10
○お知らせ 今後の主な行事	10
○事務局だより	10
○ポスター「ヒナを拾わないで!!」	11

山口大学共同獣医学部獣医学科卒業証書授与式出席報告 ＝ ご卒業された皆様の前途を祝す ＝

会長理事 田 中 尚 秋

去る令和 7 年 3 月 21 日(金)、午後 2 時から山口市吉田にある山口大学共同獣医学部獣医学研究科棟 1 階会議室において「令和 6 年度卒業証書授与式」が行われた。今年は例年にないほど寒暖の差が激しく揺れ動き、3 月中旬になっても雪やみぞれが降るなどすっかりしない天気が続いていたが、当日は久しぶりに少し動く汗ばむくらいに晴れ渡り、正にすがすがしい春日和になった。今年度の卒業生の皆さんは、「コロナ禍で対面での授業を受けられない」というつらい学生生活を強いられ、慣れないオンラインでの授業等、クラスメイトとの交流も制限されることが多かったそうであるが、当日は皆さんがはじけるような笑顔で、こちらまで心が和んだ。ご父兄の参加も緩和されたとのことで、数十組のご家族の出席もあったことは誠に感慨深いものがあった。同窓会（青山会）の深町輝康会長と共に参列させてい

ただいたので、概況を報告いたしたい。

本年度卒業証書授与式への出席者は学生 33 名であったが、今期の卒業生も優秀だったそうで、獣医師国家試験は今年度 32 名が受験し 30 名の合格であった（合格率 93.8%）とのことである。卒業生の皆さんの今後のご活躍を大いに期待したい。

この式典の中で、例年、学部長表彰、同窓会長表彰、（公社）日本獣医師会会長表彰、（公社）山口県獣医師会会長表彰等が行われているが、今回、（公社）日本獣医師会会長表彰受賞者：繁永智里さんと（公社）山口県獣医師会会長表彰受賞者：清水のどかさんには、小職から賞状と記念品をお渡しした。

続いて挨拶をさせて頂き、卒業生並びにご家族の皆様へ祝意を伝え、学部長をはじめ諸先生方のご功労に対し敬意を表した。学生の皆さんへは、今後の

期待と社会に果敢にチャレンジしていただきたいこと、自分自身の人生を楽しんでいただきたいこと、幸せな人生を歩んでいただきたいこと等を申し述べた。また、現在、全国に55の地方獣医師会があるが、それぞれの地域で獣医師会に加入していただくようお願いした。同じ獣医師仲間として、自分が、これから獣医師になる後進のため、獣医界のために何が出来るかということを考えていただきたいと訴え、連帯して獣医界を盛り上げていきたいことを伝えた。そして、結びに山口大学共同獣医学部の、今後ますますのご発展と卒業生並びにご臨席の皆様方のご健勝とご活躍をお祈りして私からのお祝いの言葉とさせて頂いた。

学科長表彰のあと、最後に学生代表から大学（代

表：学部長）への謝辞が述べられ、全員集合の記念写真撮影を終えて解散となった。



小職の左手側に日獣会長表彰の繁永智里さん、右手側に本会会長表彰の清水のどかさん



令和6年度第2回小動物講習会参加報告

下関支部 原 田 秀 明
(なつ動物病院)

2月23日(日)防長苑にて第2回小動物講習会が開催されました。

講師に酪農学園大学 伴侶動物外科 運動器科/循環器診療科長 教授 井坂光宏先生をお招きし、「心臓の外科と内科」という内容でご講演いただきました。

本講習会に先立ち、山口県獣医師会 田中尚秋会長より開会の挨拶がなされ、簡単な講師紹介の後に井

坂先生の講演が始まりました。

内容は、1.自己紹介&多臓器円環、2.色々な心臓病、3.先天性心疾患、4.体外循環の基礎、5.循環器外科の基礎でした。

1は、自己紹介&多臓器円環では波瀾万丈な自己紹介から始まり心臓と他の臓器の関係や影響の話

2は、色々な心臓病では先天性以外の心臓病として不整脈や心膜炎など多様な病気の話

3は、先天性心疾患では動脈管開存症を始め様々な心奇形の話

4は、体外循環の基礎では以外と簡単な設備で体外循環が出来るという話

5は、循環器外科の基礎では体外循環を使う循環器外科の他に、体外循環を使わない循環器外科としてウサギでの左室形成術の実験例という珍しい話や血栓症の話頂きました。

個人的には循環器疾患は理論も病態評価も難しい、とっつきにくい、そんな印象を持っています。この印象が大きく覆ることはありませんが、井坂先生は全体を通じて成功症例、突然死症例も交えてお話ししてくださり、また検査の方法や数値にばかり囚われるのでは無く病態、理論が大事、基本がしっかりしていればどの病気にも通じるから難しくないとい

うことをメッセージとしてこめられていたように感じました。

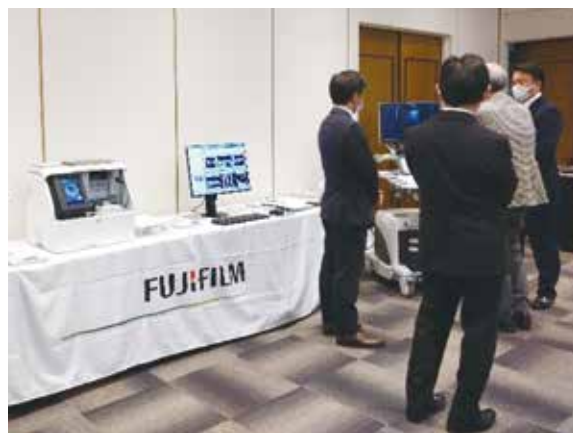
勝手に難しいと思い込んでいるだけで、病態生理や理論、他の臓器とのつながりが大切なことを改めて学んだ一日でした。

質疑応答では山口大学の谷健二先生をはじめ、多くの先生方から活発な質問がありました。講習会の終わりに山口県獣医師会白永伸行副会長による挨拶をもって5時間にわたる講習会は終了いたしました。

講習会の様子は県獣医師会HPにも掲載されています。当日参加出来なかった会員様はぜひご覧頂けたらと思います。また私のように当日すぐにその場で理解出来なかったことも学び直し場として残して下さっていることに感謝の意を表します。



講演される井坂光宏先生



ランチョンセミナーを実施した富士フイルム V E Tシステムズ（株）の製品紹介



会場の様子

令和6年度馬飼養衛生管理技術地方講習会及び牛伝染性リンパ腫対策講習会開催報告

山口支部 大村 康一郎
(公益社団法人山口県畜産振興協会)

山口県畜産振興協会では、毎年この時期に、標題の2つの講習会を開催しています。今年は、「馬飼養衛生管理技術地方講習会」を2月13日、「牛伝染性リンパ腫対策講習会」を2月21日に、獣医師、飼養者及び指導者等を対象に開催しました。

「馬飼養衛生管理技術地方講習会」は、公益社団法人中央畜産会の馬飼養衛生管理特別対策事業で開催する講習会で、毎年、馬の診療現場で活躍される獣医師をお呼びして、馬の疾病に関する診断・治療及び予防方法等に関するテーマで講演をお願いしています。毎年、県内の馬飼養者、臨床獣医師の皆さんが開催を楽しみにされている講習会で、今年は日本中央競馬会栗東トレーニング・センター競走馬診療所から山本匠先生を講師にお呼びして「日常的に遭遇する馬の運動器疾患」というテーマで開催しました。講習会では多くの運動器疾患について説明されましたが、時にはスライドに歩様異常を示す馬の動画を挿入し、聴講された皆さんにどこに異常があるか考えさせる場面も設定されており、わかりやすい講習会になるよう配慮されていました。講演の後、診療獣医師や行政関係の獣医師のみならず、馬飼養者も積極的に質問もされていました。また、今後も、

講習会を希望するとの声もあり、馬の飼養管理に関する情報を積極的に求められているのだと認識を新たにしたところです。

また「牛伝染性リンパ腫対策講習会」は、農林水産省の家畜衛生対策事業で開催する講習会で、牛伝染性リンパ腫対策に対する知識・経験の豊かな講師をお呼びして開催しています。今年は、現場における対策を学びたいと望む声を反映して、宮城県農業共済組合 第二事業部 次長 松田敬一先生に「現場における肉用牛に対するBLV清浄化対策と課題」というテーマで講演をしていただきました。先生は、共済獣医師として長く農家指導にも携わると同時に地道な指導を継続され、農家と二人三脚により牛伝染性リンパ腫の清浄化を実現された例をいくつか紹介いただきました。すぐには結果が出せない清浄化対策ですが、参加者も清浄化実現の可能性を感じ取れたのではと思います。また、清浄化対策では、抗体陽性牛の引受農場の存在が重要であることも伺えました。

畜産振興協会では、来年度も同様な講習会を開催したいと考えています。獣医師の先生方の、積極的なご参加をお願いします。



「馬飼養衛生管理技術地方講習会」で講演される山本匠先生



「牛伝染性リンパ腫対策講習会」で講演される松田敬一先生

令和6年度第4回理事会開催報告

常務理事 酒井 理

令和7年3月13日(木)13時30分から、県獣医師会館2階会議室において、令和6年度第4回理事会が開催されました。

理事13名全員、監事3名中2名に出席いただき、田中尚秋会長から、平素からの会務運営への協力・支援に対する謝辞等の挨拶の後、次の10件の議案について審議していただきました。

第1号議案 令和6年度事業実施状況について(報告事項)

第2号議案 山口県獣医師会館検討会議報告について(報告事項)

第3号議案 令和7年度事業計画(案)及び事業予算(案)について(承認事項)

第4号議案 令和7年度会費徴収(案)について(承認事項)

第5号議案 資金調達及び設備投資に係る見込み(案)について(承認事項)

第6号議案 狂犬病予防事務に係る事故補償対策準備資金の取崩措置について(承認事項)

第7号議案 会館修繕費用準備資金取扱規程の一部改正について(承認事項)

第8号議案 令和7年度定時総会について(承認事項)

第9号議案 狂犬病予防注射指定獣医師の新規指定及び解除について(報告事項)

第10号議案 山口県獣医師会役員選任について(報告事項)

第1号議案、第2号議案、第9号議案、第10号議案の報告内容は、2月に開催された第2回支部長会会議と同様(令和7年3月号会報掲載済み)ですので省略します。

第3号議案では、令和7年度事業計画(案)と事業予算(案)について説明しました。主な説明内容は次のとおり。

- ・事業方針は、越境性家畜伝染病の発生リスクの高まり、動物由来感染症対策、災害時動物救護支援、チーム獣医療提供体制の構築など、様々な課題がある中、公益社団法人として、関係機関・団体等との連携により、獣医学術の振興・普及等を図っていく

- ・県学会を8月末に開催する予定としており、新年度の学会運営委員会において、開催要領が決定される

- ・令和7年度獣医学術中国地区学会は、10月11日(土)～12日(日)、岡山市で開催される予定

- ・日本獣医師会獣医学術学会年次大会は、令和7年には開催されず、令和8年4月に東京都で、世界獣医師大会と同時開催される

- ・本会主催の講習会は、産業動物1回、小動物2回、獣医公衆衛生1回を予定

- ・家畜衛生・畜産振興支援、公衆衛生の向上・普及啓発等についても、例年どおりの事業を予定しており、山口大学共同獣医学部の協力を得て、SFTSの検査を実施

- ・動物病院の先生方の協力を得て、「学校飼育動物の保健衛生指導」と「傷病鳥獣保護救護」事業を実施

- ・災害時動物救護支援では、県及び下関市の要領に基づき支援するとともに、取組の中心となる動物病院の先生方向けの講習会の開催を検討

- ・事業予算(案)では、経常収益の計は、今年度に比べ1,254千円増額の25,388千円計上

- ・経常費用の計は、新会館取得経費を計上した今年度に比べ7,311千円減額となり、26,082千円

第4号議案では、令和7年度の本会会費を、今年度と同額とすることが承認されました。

第5号議案では、来年度は、資金調達及び設備投資の予定がないことを説明し、承認されました。

第6号議案では、今年度新たに指定獣医師になられた3名の先生方の入会金を積み立てることと、狂犬病予防注射に関する保険・啓発ポスター等の経費を取り崩すことについて、承認されました。

第7号議案では、会館修繕費用準備資金の積立上限額を上げて、今年度の会館取得資金の余剰金を積み立てることと、取崩す際の条件を緩和する規定の改正について、承認されました。

第8号議案では、令和7年度の本会の定時総会は、6月8日(日)午後2時から、山口市の防長苑で開催することについて承認されました。なお、総会終了後に交流会を企画します。

最後に、白永伸行副会長の挨拶で閉会となりました。

リレー随筆

山口支部 小宮山 暁 史
(株式会社秋川牧園)

直井秀明先生からバトンをもらいました秋川牧園の小宮山暁史です。本原稿の執筆にあたり、倉田さんから「当たり障りのないことを書くなよ。なんだこいつ、面白いやつじゃんって思わせるような文章にしろよ。」とアドバイスをもらいました。善処したところです。

秋川牧園の社員になり2年がたとうとしています。入社1年目は国家試験に落ちてしまい、会社は「こいつ、大丈夫か？」と肝を冷やしたことでしょう。2回目で無事合格し獣医師になって早1年がたちました。会社は「こいつ、本当に大丈夫か？」と不安なことでしょう。しかし、そんなことは気にしてもしようがないと、マイペースで頑張っています。

養鶏に携わる獣医師として、全国的に猛威を振っている鳥インフルエンザの防疫のことを書くべきなのでしょう。しかし、当たり障りのない文章になりそうで、倉田さんからお叱りを受けると嫌なので今回は割愛です。

養鶏の獣医師として、他にはあまりない仕事に秋川牧園では発酵飼料の製造があります。餌に添加し、鶏肉鶏卵の生産性の向上が目的です。しかし、最近は、敷料中の病原菌の増殖を抑制できるんじゃないか？との仮説をたて、敷料に撒いています。空舎期間に鶏舎の洗浄などを行い、入雛前の最後の仕上げに発酵飼料を撒き、入雛後も定期的に撒いて、日和見菌を抑えようと試みています。名付けて『味噌蔵作戦』です。本作戦は始まったばかりです。詳細を聞きたい、うちでも同じ取り組みをしているよ、など、お声がけいただけたら嬉しいです。是非、お電話ください。

突然ですが、婚活に励んでおります。胸を張って、励んでおります。高校時代、先生に「獣医師は婚期を逃す。早めに動け。」と言われました。言葉通り、早めに動こうとマッチングアプリを始めてみたり、街の集まりに行こうとしたり、何かと頑張っております。獣医師会では結婚おめでとうで、お金が貰えるように精進してまいります。そして、2回目、3回目とならないようにしていきます。

山口県に来て、出身の北海道では決してできなかった『みかん狩り』に行ってきました。そこで、農家のおじちゃんが「甘いみかんをつける木は葉の色が薄く、今にも死にそうな木で、いかにも健康な葉をつける木には良いみかんはならない。けど、木に無理させたら本当に死んでしまうから、休ませる年も必要だね、見極めが大事だよ」と言っていました。しかし、おじちゃんの言うことは嘘で、そのみかんは全てが美味しく、家で3日ほど置いておくとさら

に甘くなっており、ほっぺが落ちました。

2月終わりから3月にかけてはいちごの季節です。今週末はいちご狩りに行きます。どんな出会いがあるのでしょうか。楽しみです。あ、いちごは北海道でも実ります。

あれやこれやと書いている内にいい文字数になってきました。面白いやつになれましたでしょうか？ということで、最後に一言、二言、三言。

養鶏の業界は狭く、獣医師の方も他の業界に比べて少ないみたいです。僕がポカをしなければ、今後、秋川牧園の獣医師は僕1人になる予定です。秋川牧園には乳牛、肉牛、豚もいます。時々、会社から鶏以外のことも聞かれます。ぼぼわかりません。その時は、みなさんに助けを求めさせてください。電話します。名刺交換させていただいた先生方、運の尽きだと思って電話に出していただけると幸いです。

まだまだ、獣医師人生が始まったばかりです。みなさんに迷惑をおかけしながら成長していきます。ご指導のほどよろしくお祈りします。

次回は中部家畜保健衛生所の西本孝志先生にバトンをお渡しします。

P.S.営業の方が使う「幸甚」ってのが、カッコよくて使っているけど、ときどき「幸甚」なのか「甚幸」なのか悩むよね～



県庁生活2年目を迎えて

長北支部 松村 有 祐

(長門健康福祉センター)

長門環境保健所(長門健康福祉センター)の松村です。

初めての投稿ですので、私の趣味のゴルフについて書こうと思いましたが、あいにく良い写真がありませんでしたので、今回は私のハムスターたちを紹介するとともに、公衆衛生獣医師となった現在の私の思いを書いていきたいと思っています。

私は現在、クロクマハムスターの「ぼん」ちゃん、ゴールデンハムスターの「れす」ちゃん、キンクマハムスターの「はむ」ちゃんの合計3匹と一緒に暮らしています。名前は色々考えたのですが、ボンレスハムという響きの良さからこの名前になりました。去年の8月にお迎えしまして、執筆時点で一緒に暮らし始めて7か月になります。



上から「ぼん」「れす」「はむ」です。私のスマホのスペックと自分で撮った影響で画質が悪いですが、本当はもっと可愛いです。

ハムスターは警戒心の強い動物ですので、なかなか懐いてくれず苦労しましたが、一番最初に懐いて

くれたのは、クロクマの「ぼん」ちゃんでした。この子は当初一番警戒心が強く、部屋んぼをさせようとしたり、ご飯をあげようとしたときに噛まれてしまうこともありましたが、しかし今では手を舐めてくれるくらいには警戒心はなくなってきたのかなと思っています。キンクマの「はむ」ちゃんも最近になって大人しく手の上の上のってくれるようになりまして、残すはゴールデンの「れす」ちゃんです。この子は一番最初に懐いてくれるかと思っていましたが、思いのほか難航しています。

話は逸れますが、今回執筆するにあたり、改めてハムスターの生態について学び直しました。色々調べるなかで、手を舐めるのにはいくつか理由があることを知り、注意点があるということも認識しました。私は、現在は公衆衛生獣医師ですので、診療の中で直接飼い主さんからこのような素朴な疑問を受けることはなくなりました。私は現職の前に少しだけ民間の動物病院に務めておりました。毎日の診療では、飼い方や躰の方法から、なかなかご飯を食べてくれないなど様々な疑問を抱えた飼い主さんも多くいらっしゃいました。大学のカリキュラムだけではなかなか学べず、国家試験にも出てこないような、動物を飼ううえでの疑問をお持ちの飼い主さんは多いかと思います。毎日の診療でお忙しいなか、様々な動物種について勉強し、予想のつかない角度からの質問を受けても答えておられる諸先生方には尊敬の念を抱かざるを得ません。

現在私は県庁生活2年目でまだまだ駆け出しではありますが、去年の今頃と比べると、自信をもって取り組めることは格段に増えました。できることは増えたとはいえ、まだまだ知識の面では自信が持てないことも多いです。そのようなときに組織としてサポートをしてもらいながら仕事ができる(=経験が積める)今は、とても充実しており、様々な知識を吸収する毎日です。これからも日々の事例から学びながら、組織ということに甘えず、しっかりと自分で考える癖をつけて仕事に当たりたいと思っています。

最後にはなりますが、ハムスターの寿命は人間と比べるとはるかに短いです。「ぼん・れす・はむ」の皆には私のもとに来てよかったと思ってもらえるようにこれからも日々のお世話を頑張ります。

会員の異動

春の人事異動により次のとおり会員が異動されました。

1. 山口県職員

退職者（令和7年3月31日付け）

- 大 山 昌 志（岩国健康福祉センター保健環境部食肉検査課 主査）
- 山 根 宏 美（岩国健康福祉センター保健環境部食肉検査課 主任）
- 渡 邊 菜 摘（動物愛護センター 主任）
- 松 延 佐知子（下関農林事務所畜産部 主査）
- 柿 原 新（柳井農林水産事務所畜産部 保健防疫課長）
- 大 山 ゆ き（農林水産部畜産振興課 技師）

	〈新所属〉	〈氏名〉	〈役職〉	〈旧所属〉
生活衛生課		金 藤 良 一	食の安心・安全推進班 調整監	長門健康福祉センター保健環境部 主幹
		亀 山 光 博	乳肉衛生・動物愛護班 主査	環境保健センター保健科学部 専門研究員

	〈新所属〉	〈氏名〉	〈役職〉	〈旧所属〉
健康福祉部	岩国健康福祉センター	大久保 淳	保健環境部生活環境課 食品衛生班 主査	岩国健康福祉センター保健環境部 生活環境課食品衛生班 主任
		松 清 みどり	保健環境部食肉検査課 主査	環境保健センター環境科学部 専門研究員
	周南健康福祉センター	坂 本 聡	保健環境部 副部長	生活衛生課 食の安心・安全推進班 調整監
	山口健康福祉センター	吉 屋 昌 洋	保健環境部生活環境課 食品衛生班 主査	山口健康福祉センター保健環境部 生活環境課食品衛生班 主任
	宇部健康福祉センター	鬼 木 宏 幸	保健環境部生活環境課 食品衛生班 主査	岩国健康福祉センター保健環境部 食品衛生課 主査
	長門健康福祉センター	古 川 勝 也	保健環境部生活環境課 課長	長門健康福祉センター保健環境部 生活環境課食品衛生班 主査
		西 本 忠 弘	保健環境部生活環境課 食品衛生班 主査	萩健康福祉センター保健環境部 生活環境課食品衛生班 主査
	萩健康福祉センター	野 村 恭 晴	保健環境部生活環境課 食品衛生班 主査	動物愛護センター 所長
	動物愛護センター	殿河内 英雄	所長	周南健康福祉センター保健環境部 副部長
		宮 本 明 奈	指導課 技師	宇部健康福祉センター保健環境部 生活環境課食品衛生班 技師
環境保健センター	木 下 友里恵	保健科学部 専門研究員	環境保健センター環境科学部 専門研究員	

	〈新所属〉	〈氏名〉	〈役職〉	〈旧所属〉
農林水産部	畜産振興課	吾 郷 英 昭	主幹（衛生・飼料班長）	ぶちうまやまぐち推進課 販路開拓推進班 主幹
		川 分 敬 子	衛生・飼料班 主査	山口農林水産事務所畜産部 保健防疫課 主任
		小 森 大 幹	衛生・飼料班 技師	農林総合技術センター畜産技術部 家畜改良研究室 研究員

〈新所属〉	〈氏名〉	〈役職〉	〈旧所属〉
柳井農林水産事務所	古谷 知 広	畜産部長兼岩国農林水産事務所畜産部長兼周南農林水産事務所畜産部長	農林水産部 畜産振興課 調整監
	原田 恒	畜産部 保健防疫課長	下関農林事務所畜産部 保健防疫課長
	弘中 由子	畜産部 畜産振興課 主査	畜産部 保健防疫課 主査
	笠井 亨 浩	畜産部 保健防疫課 主任	農林総合技術センター農林業担い手支援部 学生支援課 主任
山口農林水産事務所	宮本 和之	畜産部 保健防疫課 主査	柳井農林水産事務所畜産部長兼岩国農林水産事務所畜産部長兼周南農林水産事務所畜産部長
	福岡 恒	畜産部 病性鑑定室 主任	畜産部 病性鑑定室 主任技師
萩農林水産事務所	山下 太郎	畜産部 保健防疫課 主査	山口農林水産事務所畜産部 保健防疫課 主任
	伊藤 優太	畜産部 保健防疫課 主任	畜産振興課 生産班 主任
下関農林事務所	引田 久美子	畜産部 保健防疫課長	農林総合技術センター畜産技術部 育成業務課長
	佐野 裕規	畜産部 保健防疫課 主任	長門農林水産事務所畜産部畜産振興課 主任兼下関農林事務所勤務
長門農林水産事務所	齋藤 陽之	畜産部畜産振興課主任兼下関農林事務所勤務	農林総合技術センター畜産技術部 家畜改良研究室 専門研究員
農林総合技術センター	水間 なつみ	畜産技術部育成業務課長	畜産技術部 家畜改良室 専門研究員
	横山 明宏	畜産技術部 家畜改良室 専門研究員	萩農林水産事務所畜産部 保健防疫課 主任

2. 山口県農業共済組合職員

〈新所属〉	〈氏名〉	〈旧所属〉
東部地区家畜診療所	壹岐 眞帆	中部地区家畜診療所

Safe Driver (SD：安全運転者)の証を取得してみませんか

山口支部 中間 實徳
(山口大学名誉教授・東亜大学名誉教授)

私は、今年無事故無違反の証SD21年の証を取得しました。この証明を受けるには、近くの交番へ行き、無事故無違反の証明を戴きたいと言えば、書類を戴けます。添付にあるように、これに必要事項を書いて、SDカード申請料670円とその送料152円・計822円を郵便局から送金しますと、後日自動車安全運転センターからカードが送られてきます。このカードを持つ事で、自分が車の運転に自信を持ち、さらに安全運転に心掛けようとする気持ちになります。私は今年3月に卒寿（数え年90歳）を迎えましたので、何事も用心して、事故に遭わない様、また事故を起こさない様にと心掛けています。



お知らせ

会員のメールアドレス登録について

従前から、本会からのお知らせや、国・県・日本獣医師会等からの会員向けの情報については、本会ホームページに掲載するとともに、アドレスを登録いただいた会員の勤務先や自宅にメールを送信して周知しているところです。

郵便料金等通信費を削減するため、今後、各種会議の開催案内等についても、メールを活用することとしました。

つきましては、メールアドレスを登録されていない会員の皆様は、パソコンまたは携帯電話のメールアドレスを、本会事務局（yama-vet@abeam.ocn.ne.jp）にお知らせください。

会員異動報告について

人事異動等で、会員の所属・住所等の変更があった場合は、すみやかに所属支部事務局に「会員異動通知書」を提出してください。手続きが遅れると、「日本獣医師会雑誌」をはじめ、(公社)日本獣医師会や本会からの通知等が届かなくなりますのでよろしくお願ひします。

※様式は本会ホームページ（各種様式）に掲載しています。なお、入会申込書の様式が変更されていますので、留意してください。

今後の主な行事(予定)

- 4月2日 ・県環境生活部長着任挨拶（県獣会館）
- 4月5日 ・熊毛支部総会（光市）
- 4月10日 ・中国地区獣医師会連合会定期総会（松江市）
- 4月22日 ・畜産経営総合対策協議会（県庁）
- 4月25日 ・県庁支部総会（県庁）
- 4月28日 ・令和6年度事業監査（県獣会館）
- 5月7日 ・防府支部総会（防府市）
- 5月8日 ・岩柳支部総会（岩国市）
- 5月9日 ・役員候補者推薦委員会（県獣会館）
- 5月9日 ・山口支部総会（山口市）
- 5月9日 ・宇部支部総会（宇部市）
- 5月9日 ・長北支部総会（長門市）
- 5月10日 ・徳山支部総会（周南市）
- 5月10日 ・下関支部総会（下関市）
- 5月13日 ・令和7年度第1回理事会（県獣会館）

事務局だより

- 3月4日 ・県選挙管理委員会報告
- 3月13日 ・動物慰霊祭（県動物愛護センター）
- 3月13日 ・第4回理事会（県獣会館）
- 3月18日 ・令和6年度山口県動物愛護管理推進協議会（県庁）
- 3月21日 ・山口大学共同獣医学部卒業証書授与式（山口大学）
- 3月25日 ・会報編集委員会（県獣会館）
- 3月28日 ・県環境生活部長退任挨拶（県獣会館）
- 13日 27日 事業推進会議

次回編集委員会 4月22日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第767号 令和7年4月10日（毎月1回発行）

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

みまもって、野鳥の子そだて

ヒナを拾わないで!!

近くには
親鳥がいるから
だいじょうぶ。



ヒナを見つけ、
血が出ていたり、
ケガをしている場合は、
各都道府県の
鳥獣保護担当部署に
ご連絡ください。

窓口の
連絡先一覧
はこちらへ



ヒヨドリのヒナ

見つけても
そのままに

私たちも応援しています!

- (株)アシスト わんわん倶楽部 アトム(株) カールツァイス(株) 学研グループ 株木建設(株) (株)キングジム
 サントリーホールディングス(株) (宗)真如苑 東亜建設工業(株) 長浜市 別所動物病院 (株)ニコンイメージングジャパン
 丸和油脂(株) 三菱製紙(株) 森ビル(株) 横浜ゴム(株) リコーリース(株) リズム(株)
 (一社)岩手県獣医師会 (株)共立商会 栃木県 (株)日本フードエコロジーセンター (株)フジナガ (株)メール 八ヶ岳倶楽部
 (公社)愛知県獣医師会 (株)アイフ葎草 (公社)秋田県獣医師会 奄美いんまや動物病院 アルスコンサルタンツ(株) (公社)石川県獣医師会
 (公社)茨城県獣医師会 S&S(株) (公社)大阪市獣医師会 (公社)大阪府獣医師会 (株)オオバ (公社)岡山県獣医師会 (公社)鹿児島県獣医師会 カラーータ(株)
 (公社)川崎市獣医師会 (公社)北九州市獣医師会 (公社)岐阜県獣医師会 (公社)京都府獣医師会 (公社)京都府獣医師会 京都野鳥の会
 (公社)神戸市獣医師会 寿精版印刷(株) (公社)滋賀県獣医師会 (公社)静岡県獣医師会 NPO法人自然環境アカデミー 神宮司庁 全国愛鳥教育研究会
 高尾雲岡犬猫基地 (公社)千葉県獣医師会 東京環境工科大学 (公社)東京都獣医師会 (公財)動物臨床医学研究所 鳥取県 高山県鳥獣保護センター
 (一社)長野県獣医師会 (公社)名古屋市獣医師会 (公社)奈良県獣医師会 (公社)新潟県獣医師会 日本印刷(株) (公社)日本獣医師会 (一社)日本小動物獣医師会
 (公社)日本動物病院協会 日本野鳥の会茨城県 馬場動物病院 (一社)兵庫県獣医師会 (公社)広島県獣医師会 (有)プレスワールド 文永堂出版(株)
 (株)ベッスイシバシ (公財)ホシザキグリーン財団 (公社)北海道獣医師会 武蔵村山ペットメモリアルパーク 森久保CAメディカル(株) モリトジャパン(株)
 (株)モンベル 野生動物リハビリーター協会 山口県 (公社)山口県獣医師会 (公社)横浜市獣医師会 和歌山県 (公社)和歌山県獣医師会

共催：(公財)日本鳥類保護連盟 ☎03-5378-5691 (公財)日本野鳥の会 ☎03-5436-2622
NPO 法人野生動物救護獣医師協会 ☎042-529-1279

後援：環境省



ヒナを拾わないで!!

日頃から私たちは、身近な環境で当たり前のように野鳥たちの姿を目にすることができます。それは野原や森、あるいは山といった自然環境の豊かな場所だけではありません。街なかや、ビルが立ち並ぶ都市部でも、野鳥の姿を見かけます。そう、野鳥たちは、私たちが暮らしている環境や空間を共有するかのよう、生活しているのです。

しかし、ここで忘れてはいけないのが、野鳥が「野生動物」であるということです。つまり、私たちが飼っている犬や猫といったペットとは違い、いつも自分たちの力だけで生きているのです。だから、私たちが勝手に捕まえて飼ってみたり、鳥かごに閉じ込めて餌を与えたりしてはいけません。

多くの野鳥は春先から夏にかけての草木が伸び、昆虫などが数多く姿を見せる、餌が豊富な時期に子育てをします。そんな時、道ばたや公園、家の庭先などで、まだ幼い感じのする野鳥のヒナを見かけることがあるはず。さて、どうすればいいのでしょうか？

ヒナを見つけたときは…

スズメのヒナの特徴



巣立ち前のヒナの場合



巣立ち直後のヒナの場合

近くに巣がないか探す

見つけた!

見つからない!

巣の中に戻してあげる

都道府県の窓口や
指定された
動物病院などに相談

かわいそう…

心配…

そのままそっとしておく 必ず親鳥が近くにいます

※その場所が車の多く通る道であったり、猫に襲われているなど危険なときは、近くの茂みや木の上など安全な場所においておきましょう。

私たちが善意の気持ちでヒナを持ち帰ってしまうと…

ヒナは1羽ているように見えても必ず近くに親鳥がいます。私たちが拾ってしまうことでヒナと親鳥を引き離してしまうことになり、逆に弱って死んでしまうかもしれません。ヒナを育てるのは、やはり親鳥が一番なのです。巣立った後もしばらくの間は親鳥と一緒に行動し、これから先ヒナがひとり生きていくことに必要な、餌のとり方や敵からの身の守り方など、様々なことを学んでいきます。ヒナを想う気持ちから、思わず拾ってあげたくなるかもしれませんが、本当は子育てを邪魔しないようにそっとしてあげることが大切なのです。

もし野鳥がケガをしていたら？

野鳥がケガをしていたり、うまく立てないなど明らかにおかしな状態であった場合は、先ほどと受け止め方が少し違ってきます。そのままにしておくと弱っていくばかりなので、各都道府県の野生動物のことを担当している窓口か、あるいは都道府県の許可を得て、野鳥の救護を行っている動物病院などに連絡を入れて、指示を受けるようにしてください。

野鳥は法律で保護されています

野鳥は、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(鳥獣保護管理法)によって、国や都道府県などの許可を得ることなく捕まえてはいけないことになっています。たとえ、身近にいるスズメであっても捕まえて飼うことは法律違反となります。野鳥はあくまで野生動物なので、いつも少し距離を置いて見守ってあげることが、野鳥たちにとっての幸せなのです。

「ヒナを拾わないで!!」 キャンペーン

公益財団法人日本鳥類保護連盟、公益財団法人日本野鳥の会、NPO法人野生動物救護獣医師協会が、巣立った直後の野鳥のヒナに出会った時の正しい接し方を伝えることを目的として行っています。

プレゼント

地面にいるヒナを見つけた時の対応方法がもっと詳しくわかる

パンフレット「野鳥のヒナと出会ったら?」
先着 1,000 名様にプレゼント!

お申込方法

QRコードを使って専用申込フォームにアクセスし、お申し込みください。
もしくは【1.氏名(フリガナ) 2.郵便番号 3.住所 4.電話番号 5.メールアドレス】と「ヒナパンプ希望」とご記入のうえ、メール (fukyu@wbsj.org) か、FAX (03-5436-2635) か、郵便 (〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル 日本野鳥の会 ヒナパンプ JW 係) でお申し込みください。



※お知らせいただいた個人情報は、(公財)日本野鳥の会の個人情報保護規程に従って管理し、子どもの送付の他、案内をお送りするなど当会の事業を実施する目的にのみ利用いたします。

(公財)日本鳥類保護連盟

〒166-0012 東京都杉並区和田3-54-5 第10田中ビル3F

☎03-5378-5691

(公財)日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル

☎03-5436-2622

NPO法人野生動物救護獣医師協会

〒190-0013 東京都立川市富士見町1-23-16 富士パークビル302

☎042-529-1279

